

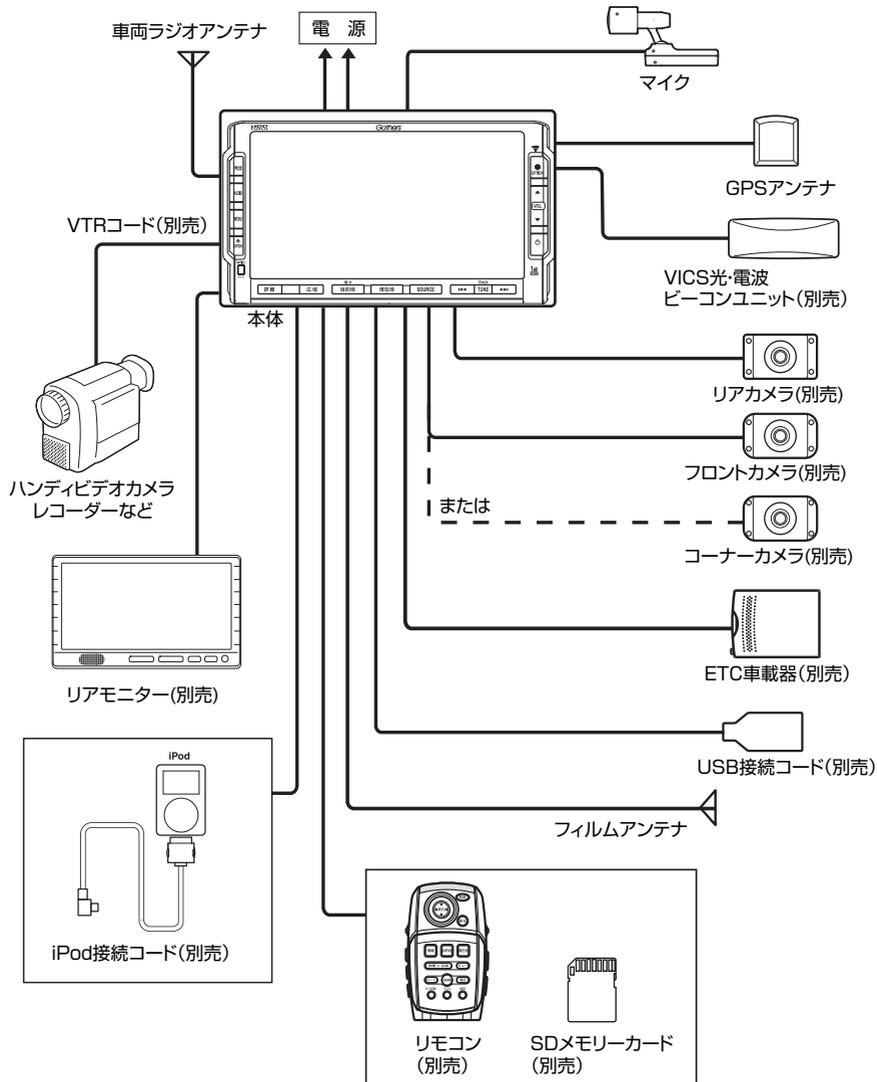
便利な機能 (アクセサリ) の使いかた

.....

目次

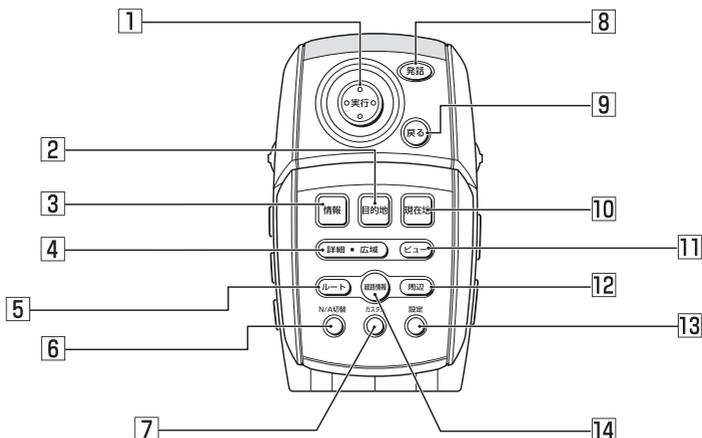
本機に接続できる機器	362
リモコンを使う (別売)	363
接続したビデオを観る (別売)	368
リアモニターを使う (別売)	370
リアカメラシステムを使う (別売)	371
フロントカメラ／コーナーカメラを使う (別売)	376
音声で操作するには (ボイスコントロール) ..	383
SDメモリーカードを使う (別売)	389

本機に接続できる機器



リモコンを使う（別売）

各部の名称と働き



1 ジョイスティック(実行)ボタン

地図ではスクロールや地点登録、メニューでは項目などの選択と決定に使用します。

2 (目的地)ボタン

行き先を設定するための目的地メニューが表示されます。

3 (情報)ボタン

VICSなど、各種情報を見るための情報メニューを表示します。

4 (詳細)ボタン / (広域)ボタン

地図の表示スケールを切り替えます。押し続けると拡大 / 縮小を細かく切り替えることができます。(フリースケール)

5 (ルート)ボタン

ルートを編集するためのルートメニューが表示されます。

6 (N/A切替)ボタン

ナビゲーションモード、オーディオモードを切り替えます。

7 (カスタム)ボタン

自由に設定できる8個の機能を簡単に呼び出せます。

8 (発話)ボタン

対話形式による音声操作ができます。

9 (戻る)ボタン

前の画面に戻ります。

10 (現在地)ボタン

現在地の地図画面を表示します。

11 (ビュー)ボタン

地図の表示方法を変えます。

12 (周辺)ボタン

現在地周辺の施設を検索します。

13 (設定)ボタン

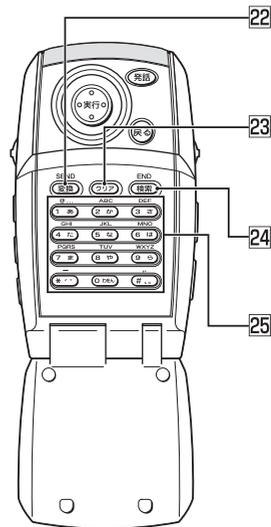
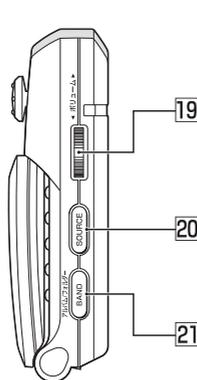
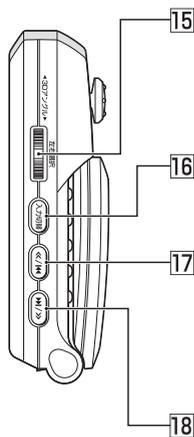
各種設定を行うための設定メニューを表示します。

14 (経路情報)ボタン

ルート上の各種情報を表示します。

便利な機能（アクセサリ）の使いかた





15 3Dアングルダイヤル

3D地図のアングルを変えます。押すと、2画面表示時の左右画面選択を行います。

16 入力切替)ボタン

入力文字種を切り替えます。

17 << ボタン

ワンセグ/ラジオ時：

プリセットチャンネルダウン
 長押し時：チャンネルのシークダウン
CD/DVD*/SDメモリーカード/
MUSIC RACK / **FILE RACK** /
USB / **iPod**時：
 トラックダウン、トラックのサーチダウン

18 >> ボタン

ワンセグ/ラジオ時：

プリセットチャンネルアップ
 長押し時：チャンネルのシークアップ
CD/DVD*/SDメモリーカード/
MUSIC RACK / **FILE RACK** /
USB / **iPod**時：
 トラックアップ、トラックのサーチアップ

※DVDの操作では、リモコンで操作できないメニューがあります。本機のタッチパネルで操作してください。

19 ボリュームダイヤル

回転すると、音量を調節します。

20 SOURCE)ボタン

オーディオモードのソースを切り替えます。

21 BAND)ボタン

ワンセグ、ラジオのバンド切り替えなどを行います。

22 変換)ボタン

入力されたかなを漢字に変換します。

23 クリア)ボタン

入力された文字を削除します。

24 検索)ボタン

文字入力検索時は検索を開始します。編集時は入力された文字を決定します。

25 10キー

文字や数字を入力します。

リモコンの操作

文字を入力する

リモコンの10キーを使用して文字を入力することができます。

■基本的な操作

操作内容	リモコンの操作
カーソルを右に移動	3Dアングルダイヤルを上方向に動かす
カーソルを左に移動	3Dアングルダイヤルを下方向に動かす
文字の削除	クリア ボタンを押す
入力文字の切替	入力切替 ボタンを押す
文字を変換する	変換 ボタンを押す

※画面上のタッチキーをジョイスティックで選択し、実行ボタンを押しても同じ操作ができます。

※目的地検索では、文字入力後に**検索** ボタンを押して検索することもできます。

■入力文字と10キーの対応

ボタン \ モード	かな漢字入力	カタカナ入力	英字入力	数字入力
1	あいうえおあいうえお	アイウエオアイウエオ	@ : ; / . ~ - _	1 @ : ; / . ~ - _
2	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
3	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
4	たちつとっ	タチツテトツ	G H I g h i	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	T U V t u v	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0	わをんわ	ワヲンッ		0
*	ゝ 。	ゝ 。	- + × =	- + × =
#	—	、 。 ～ ・ ! ? () 「 」	.. ~ · ! ? () 「 」	.. ~ · ! ? () 「 」

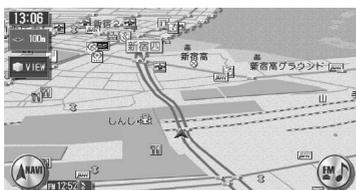
※地図画面で**0** ボタンを押すと、電話番号検索画面が表示されます。

3D地図の角度を変える

1 3D地図表示中に3D角度ダイヤルを動かす



下方向に動かすと、低い角度になります。



上方向に動かすと、高い角度になります。



電池を交換する

■電池に関するご注意

- 指定された電池以外は使用しない

電池の破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚染する原因となることがあります。

- リモコン内に電池を挿入するときは、極性（⊕極と⊖極）に注意し、指示どおりに入れる

指示どおりに入れないと、電池の破裂や液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。

- 加熱・分解したり、火・水の中に入れない

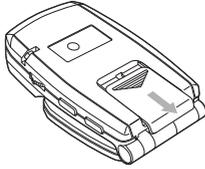
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。

- 金属製のボールペン・ネックレス・コインなどと一緒に携帯または保管しない

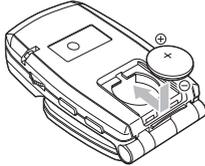
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。

- 使用済みの電池は定められた方法および場所に廃棄する

1 電池カバーを開ける



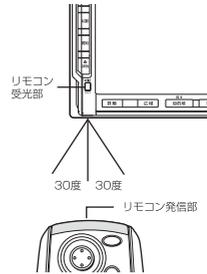
2 リチウム電池（CR2032）を⊕表示を上にして入れ、電池カバーを閉める



▶ END ◀

リモコン操作時の注意

- 本機のリモコン受信部に直射日光があたっていると、操作ができないことがあります。このような場合は、直射日光をさえぎって操作してください。
- リモコンは、直射日光の当たるダッシュボードの上など、高温になる場所に放置しないでください。本体の変形や電池の液漏れなど、故障の原因となります。
- リモコンの発信距離が短くなったり、操作可能範囲が狭くなった場合は、リモコンの電池を交換してください。
- リモコンの発信部は、上下左右30度の範囲で、リモコン受光部に向けて操作してください。



- リモコンを1ヶ月以上使用しないときは、液漏れ防止のため、電池をリモコンから取り出してください。液漏れした場合は、液をよく拭き、電池を交換してください。

便利な機能（アクセサリ）の使いかた

接続したビデオを観る（別売）

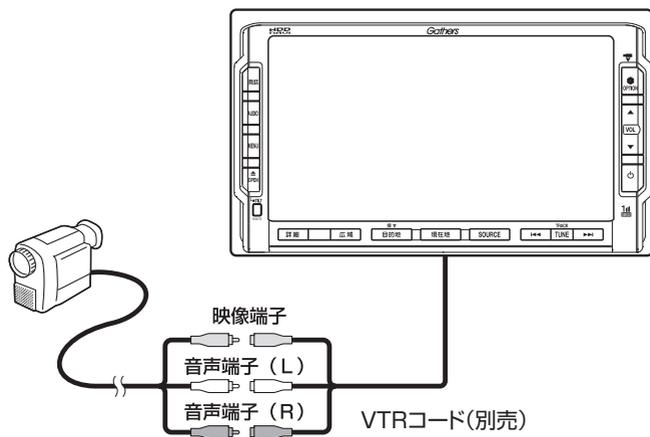
VTR機器接続時は、お手持ちのVTR機器などを接続して映像、音声を楽しめます。接続には、別売のVTRコードをお買い求めください。

⚠警告

- 運転者がテレビやビデオを観るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。本機は安全のため、車が停車しているときのみビデオ映像を観ることができます。
走行中は、音声だけを聴くことができます。

1 別売のVTRコードにお手持ちのVTR機器を接続する

接続した機器付属の取扱説明書をあわせてご覧ください。



オーディオ・テレビ映像入力端子と音声入力端子は正しく確実に接続してください。

2 SOURCE を押し、 VTR をタッチする

3 VTR機器を操作する

VTR映像が表示されます。



画面サイズを切り替える

VTR画面の表示サイズを、ノーマル、フルワイド、シネマに切り替えます。



- 画面サイズを切り替えると、オリジナルの映像と見えかたに差が出る場合があります。



1 希望の画面サイズを選択してタッチする



ノーマル		画面の左右が黒画面となります。
フルワイド		画面全体が横方向に広がります。
シネマ		画面上下の映像が見えなくなります。

通常のVTR画面に戻ります。

オーディオコントロールバーが消えると同時に、選択した画面のサイズが反映されます。

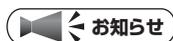


リアモニターを使う（別売）

本機はビデオ出力端子を装備しているので、後席に別売のリアモニターを増設することで、リアエンターテインメントを楽しむことができます。



- ・リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。



- ・リアモニターを本機に接続するには、リアモニターとリアモニター取付タッチメントが必要です。
- ・**「再生状態表示を設定する」(P.196)**で状態表示を設定するとリアモニターにも再生情報が表示されます。なお、映像を本機の画面からリアモニターに切り替えたときに、本機の画面の再生情報の一部がリアモニターに残る場合があります。

リアモニターに表示できる映像

リアモニターに表示できる映像は、DVDビデオ、DVD-VR、ワンセグ、iPodビデオ、VTRの映像です。オーディオコントロールバーなどは表示されません。走行中/停止中に関係なく映像が表示されます。

DVD、ワンセグ、iPod、VTR以外のソースを選択しても、リアモニターには何も表示されません。

本機の画面でナビゲーション画面を表示中でも、選択したオーディオソースの映像のみが表示されます。

リアカメラシステムを使う（別売）

リアカメラシステム接続時は、車の後方をモニターで確認できます。

リアカメラシステムを本機に接続するには、別売のリアカメラシステムとリアカメラシステム取付アタッチメントが必要です。

⚠警告

- モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

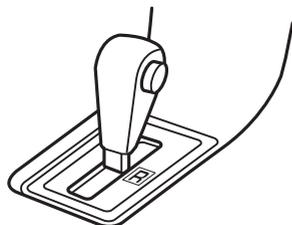
⚠注意

- リアカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質の調整やガイド表示の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。

リアカメラシステムの操作

1 エンジンをつける

2 シフトレバーを **R**（リバース）にする



リアカメラの映像に切り替わります。

リアカメラの映像は、オーディオ画面やDVD / テレビ / ナビゲーション画面よりも優先して映し出されます。

お知らせ

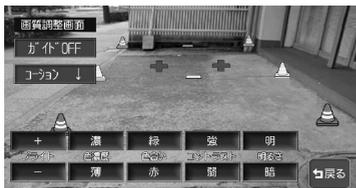
- カメラ表示中に操作できるのは、本体の 、、、、、、、リモコン（別売）の上記同機能ボタンです。

▶ END ◀

画質を調整する

1 リアカメラ映像表示中に **MENU** を押す

画質調整画面が表示されます。



● ブライトを調節する

+、**-** をタッチして調整します。

● 色濃度を調節する

濃、**薄** をタッチして調整します。

● 色合いを調節する

緑、**赤** をタッチして調整します。

● コントラストを調節する

強、**弱** をタッチして調整します。

● 明るさを調節する

明、**暗** をタッチして調整します。

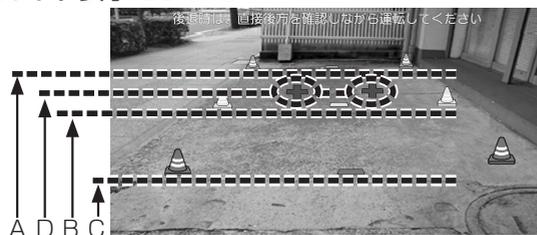
■ カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見ると同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

▶ END ◀

便利な機能（アクセサリ）の使いかた

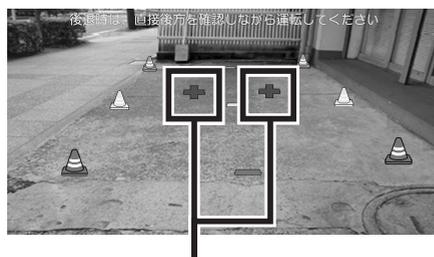
■ガイド表示について



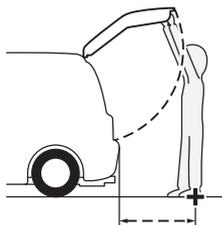
- A：バンパー後端より約2mの位置を示します。
B：バンパー後端より約1mの位置を示します。
C：バンパー後端より約0.5mの位置を示します。
（車種により位置は異なります）
D：テールゲートなどの開閉に必要な距離を示します。

お知らせ

- ・ テールゲートなどの開閉に必要な距離は各販売店にて設定されます。
- ・ 設定の変更などについては、各販売店にご相談ください。



テールゲートなどの開閉に必要な距離マーク



テールゲートなどの開閉に必要な距離

コーションを画面下側にすると、車両後端が見えなくなり、危険な場合があります。その場合はコーションの表示位置調整をしてください。



▶ END ◀

便利な機能（アクセサリ）の使いかた

フロントカメラ／コーナカメラを使う（別売）

ここでは、コーナカメラを例にあげて説明しています。

⚠警告

- ・モニター画面だけを見て車を運転することは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

⚠注意

- ・フロントカメラ／コーナカメラはあくまで運転の補助手段として使用してください。安全のためカメラ使用時も目視による安全確認を行ないながら運転してください。
- ・雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- ・画質の調整やガイド表示の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。

車速判定機能により、停車が予測されると自動的にカメラ映像が映し出されます。また、動作する地点を登録しておいても、自動的にカメラ映像を映し出すことができます。

アドバイス

- ・OPTIONボタン操作でも、カメラ映像を映し出すことができます。

カメラ映像を自動で映し出させる

カメラ映像を自動で映し出させるように条件を設定し、動作地点を設定します。

自動表示条件の設定

カメラ映像を自動的に映し出す条件を設定します。

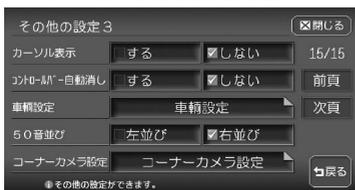


1 次頁 を2回タッチする

その他の設定3の画面が表示されます。

2 各項目を設定する

コーナカメラ接続時の場合



設定項目	設定の内容	設定値
コーナカメラ自動表示	停車が予測されたとき、カメラ映像を自動で表示するかどうかを、各カメラについて設定します。	する / しない*
登録地点検知	自動表示の登録地点通過時に停車が予測されたとき、カメラ映像を自動で表示するかどうかを設定します。	する* / しない

※は工場出荷時の初期設定です。

3 閉じる をタッチする



自動表示の動作地点を登録する

カメラ映像を自動的に映し出される地点を登録します。

動作地点は、登録リストに登録した地点に設定できます。

設定は、あらかじめ地点登録された地点のデータ編集画面から行います。

地点登録については、「よく行く場所をナビに登録する」(P.55) をご覧ください。

地点の編集については、「登録リストを編集する」(P.58) をご覧ください。

1 目的地 を押す

目的地メニュー画面が表示されます。

2 登録リスト をタッチする

登録リスト画面が表示されます。グループを設定している場合は、目的の地点のグループを続けて選択します。

3 編集 をタッチする

編集メニューが表示されます。

4 データ編集 をタッチする

地点リストが表示されます。

5 自動表示させたい地点をタッチする

選択した地点のデータが表示されず。

6 アイコン名 をタッチする

アイコン一覧が表示されます。



7 カメラをタッチする



8 必要に応じて名称を入力し、**決定**をタッチする

9 **閉じる**をタッチする



カメラ画面について

カメラの画面設定を調節する

昼画面と夜画面（イルミON時）ごとに設定できます。

1 カメラ映像表示中に **MENU** を押す コーナーカメラ接続時の場合



画質調整画面が表示されます。

● ブライートを調節する

+、**-** をタッチして調整します。

● 色濃度を調節する

濃、**薄** をタッチして調整します。

● 色合いを調節する

緑、**赤** をタッチして調整します。

● コントラストを調節する

強、**弱** をタッチして調整します。

● 明るさを調節する

明、**暗** をタッチして調整します。

2 **戻る** をタッチする

カメラ映像に戻ります。



コーナーカメラのガイド表示を設定する



- 必要な距離は各販売店にて設定されます。設定の変更などについては、各販売店にご相談ください。

1 カメラ映像表示中に **MENU** を押す

2 **ガイド ON** をタッチする



3 **戻る** をタッチする



コーナーガイドが表示されたカメラ映像が映し出されます。



便利な機能（アクセサリ）の使いかた

■カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- 夜間または暗所ではカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- コーナーカメラシステムは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

カメラ映像を手動で映し出させる

ボタン操作で、手動でカメラ映像を映し出します。

ボタン操作でカメラ映像を映し出すには、あらかじめ  を設定する必要があります。

カメラ接続時は、自動的に「カメラ映像ON / OFF」に割り付けられます。

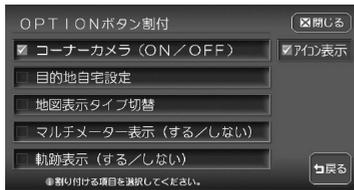
OPTIONボタンの設定

1 を押し続ける

OPTIONキー割付画面が表示されます。

2 をタッチする

コーナーカメラ接続時の場合



3 をタッチする



インジケータが表示されます。

グリーンの場合：車速判定機能によって停車が予測されると、カメラ映像を自動的に表示します。

グレーの場合：車速判定機能によって停車が予測されても、カメラ映像は自動では表示されません。



アドバイス

- インジケータの表示／非表示を切り替えることができます。詳しくは「OPTIONボタンの操作方法」(P.321) をご覧ください。

▶ END ◀

便利な機能（アクセサリ）の使いかた

カメラ映像を手動で映し出す

1  を押す



カメラからの映像が表示されます。
再度  を押すか車を加速すると、直前に表示していた画面に戻ります。

▶ END ◀

音声で操作するには（ボイスコントロール）

さまざまな操作を、マイクに話しかけてボイスコントロール（音声操作）で操作できます。



- ・ 走行中も一部を除いて操作できますが、運転の妨げにならないように十分注意してください。
- ・ 操作に慣れるまで、停車状態で発話のタイミングや発音を練習してください。

音声操作について

音声で操作するボイスコントロールでは、発話した言葉に対し、音声による回答が返ってきます。（アンサーバック機能）

操作によってはアンサーバックしないこともあります。

アンサーバックは設定によりOFFにすることもできます。詳しくは「**音声案内の設定をする**」(P.303)をご覧ください。

■操作の種類

ボイスコントロールの操作方法は、次の2種類があります。状況に応じて使い分けてください。

●単独で操作する

地図画面上などで  を押し、認識できる言葉を発話することで音声だけで操作を完結できます。

●目的地を探す

住所、電話番号、施設名称から目的地を音声だけで探すことができます。

ボイスコントロールに入る

ボイスコントロールモードに入るには、以下の操作を行います。

1 を押す

2 が赤く点灯したら、マイクに向かって発話する



言葉を認識すると、操作を実行します。

「ピッ」という音が鳴る前など、発話するタイミングが早すぎる場合は、発話しても認識されません。再度発話してください。

マイクアイコン消灯時は、アンサーバック中などで発話を受け付けていない状態です。

▶ END ◀

知っておきたい言葉

スムーズな操作のために、知っておくと便利な言葉です。
ナビゲーションとオーディオで共通です。

動作	発話内容
直前の画面に戻る	もどる →前の画面に戻ります。
ボイスコントロールを中止する ^(※1)	ちゅうし →ボイスコントロールが終わり、音声操作を始める前の画面に戻ります。
数字を認識させる ^(※2)	いち、に、さん、よん、ご、ろく、なな、はち、きゅう、ぜろ
何と発話していいのかわからなくなった ^(※3)	へるぷ →ヘルプ画面が表示され、ボイスコントロールは終了します。

※1 を押すか、をタッチしても中止できます。

※2 「13」など2桁の数字は、1つずつではなく「じゅうさん」と発話してください。

※3 ヘルプの内容は、ナビゲーションとオーディオで異なります。

正しく認識させるために

ボイスコントロールをスムーズに行うために、以下のことに注意してください。

●車の窓を閉める

周囲の雑音により、言葉が正しく認識されないことがあります。

●マイクに向かってはっきり正しく発話する

早口や、こもった話し方では正しく認識されないことがあります。

●ボイスコントロール使用中は他の話をしない

話し声により正しく認識されないことがあります。

●発話できる言葉を使う

操作により発話できる言葉が決まっていますので、本書をよくお読みください。

お知らせ

- ・上記を正しくお守りいただいても、走行ノイズなどの音により、発話内容を認識できない場合や、間違った結果を出す場合があります。

音声操作例

ボイスコントロールの操作例です。

発話できる言葉については、「ボイスコントロールで操作できる言葉」（P.448）をご覧ください。

目的地を住所から探す

1 「じゅうしょ」と発話する

「住所名称をどうぞ」とアンサーバックされ、「ピッ」と音が鳴ります。

2 都道府県名から丁目までを発話する



「〇〇（認識された住所）の次をどうぞ」とアンサーバックされ、「ピッ」と音が鳴ります。



アドバイス

- 丁目を発話をする時は、「いち」「いっちょうめ」が認識可能です。番地、号を発話するときは「いち」は認識可能ですが「いちばんち」「いちごう」などは認識されません。

3 番地などの番号を発話する

「〇〇（認識された住所）を表示します」とアンサーバックされ、地図が表示されます。「ピッ」と音が鳴ります。



希望するメニューを発話してください。

発話できるメニューについては、「目的地検索後の操作に関する言葉」（P.452）をご覧ください。



アドバイス

- 番地、号を続けて発話する時は、「いちのに」の様に「の」を入れて発話してください。
- 都道府県名と市町村名、地名、丁目、番地、号を分けて発話することもできますが、できるだけ都道府県～丁目を発話した後、番地～号を発話してください。
- 都道府県名～号までを一度に発話することもできますが、丁目までしか認識できませんので、その後再度、号までの発話をしてください。
- 途中で「地図表示」と発話すると、認識した住所までの代表地点を地図表示します。

END

近くのコンビニを探す

■走行中の場合

1 「ちかくのコンビニ」と発話する

最短の施設周辺の地図を表示します。複数該当するときは、「つぎ」または「まえ」と発話すると次の施設、前の施設に切り替わります。



希望するメニューを発話してください。



■停車中の場合

1 「ちかくのコンビニ」と発話する

施設リストが表示されます。



施設リストが表示されると、ボイスコントロールモードは解除されます。リストから施設を選択、選択後の計算などは、タッチパネル操作を行ってください。



ソースを選択する

1 目的のソースを発話する

「〇〇（認識されたソース名）にします」とアンサーバックされ、ソースが切り替わります。



曲名を検索する

1 「きょくめい」と発話する

「曲名をどうぞ」とアンサーバックされ、「ピッ」と音になります。

2 曲名を発話する



「〇〇（認識された曲名）を再生します」とアンサーバックされ、アルバムの再生をはじめます。



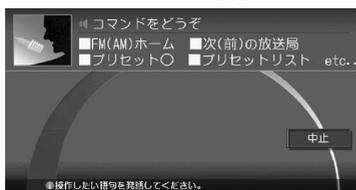
FMのプリセットチャンネルを選択する

この操作は、オーディオモードでのみ行えます。

1 「えふえむ」と発話する

ソースがFMに切り替わります。

2 を押し、聴きたいプリセットチャンネルを発話する



例：プリセットチャンネル1→「ぷりせつといち」発話した放送局が映ります。



SDメモリーカードを使う（別売）

お知らせ

- ・本機はSDメモリーカードを付属していません。ご利用の際はそれぞれの規格に準拠した市販品をお買い求めください。

使用可能なSDメモリーカード

本機で使用可能なSDメモリーカードは、下表のようになっております。
本機では、SDメモリーカードと互換のない記録メディアには対応していません。

SDメモリーカードの種類	対応	備考
SDHCメモリーカード	○	
miniSDHCカード、microSDHCカード	○	専用のアダプターが必要
HIGH SPEED SDメモリーカード	○	
PRO HIGH SPEED SDメモリーカード	○	
SUPER HIGH SPEED SDメモリーカード	○	
miniSDカード、microSDカード	○	専用のアダプターが必要

お知らせ

- ・miniSDアダプター、microSDアダプターを本機内に残さないでください。
- ・本機では、DRM（デジタル著作権管理）で保護されたデータの再生はできません。

SDメモリーカードに関するご注意

SDメモリーカードをお使いの際は、以下のようなことにご注意ください。

- SDメモリーカードは、ダッシュボードの上や直射日光のあたる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
- SDメモリーカードの端子部に、手や金属で触れないでください。
- SDメモリーカードの最適化は行わないでください。
- 書き込み中や読み込み中にSDメモリーカードを抜いたり、エンジンを切らないでください。また、静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所では使用しないでください。データが破壊されることがあります。
- SDメモリーカード内のデータは圧縮しないでください。
- 操作パネルの開閉動作中およびチルト状態では、SDメモリーカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
- SDメモリーカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- SDメモリーカードへアクセスしている状態では、操作パネルを開けないでください。
- SDメモリーカードのロックスイッチを「LOCK」にすると、記録・消去ができなくなります。



SDメモリーカード

SDメモリーカードのデータを編集する

SDメモリーカードのデータは、データ編集メニューから編集できます。

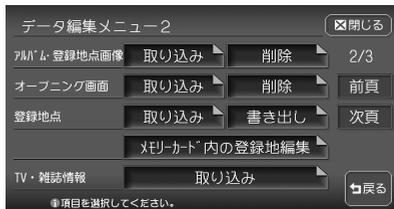
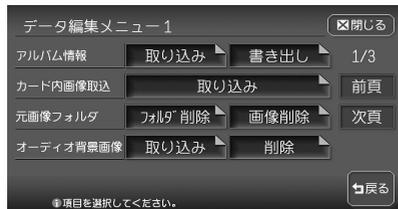
操作は、SDメモリーカードを本機に挿入した状態で行います。SDメモリーカードの出し入れについては、「SDメモリーカード」（基本操作ガイド編 P.74）をご覧ください。

1 MENU を押し、各種設定 をタッチする

各種設定画面が表示されます。

2 データ編集 をタッチする

データ編集メニューが表示されます。



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

！ お願い

- ・ 操作中は電源を切らないでください。
- ・ SDメモリーカードにアクセスしているときは、本機に関する一切の操作を行わないでください。

便利な機能（アクセサリ）の使いかた



設定項目	設定の内容	参照ページ
アルバム情報の取り込み／書き出し	MUSIC RACKのアルバム情報をSDメモリーカードに書き出す また、SDメモリーカードから本機にアルバム情報を取り込むこともできます。	P.393
カード内画像の取り込み	SDメモリーカード内の画像データを、本機に取り込む	P.394
元画像フォルダのフォルダ削除／画像削除	本機内の画像フォルダや画像を削除する	P.395
オーディオ背景画像の取り込み／削除	SDメモリーカード内の画像データを、オーディオの背景用の画像として本機に取り込む また、本機に取り込んだデータを削除することもできます。	P.396
アルバム・登録地点画像の取り込み／削除	SDメモリーカード内の画像データを、アルバム・登録地点用の画像として本機に取り込む また、本機に取り込んだデータを削除することもできます。	P.398
オープニング画面の取り込み／削除	SDメモリーカード内のオープニング画面用画像データを、本機に取り込む また、本機に取り込んだデータを削除することもできます。	P.400
登録地点の取り込み／書き出し	本機からSDメモリーカードに登録地点を書き出したり、SDメモリーカードから本機に登録地点を取り込む また、SDメモリーカード内の登録地点を編集することもできます。	P.402
TV・雑誌情報の取り込み	SDメモリーカード内のTV・雑誌情報の更新データを、本機に取り込む	P.404
iPod画面の取り込み／削除	SDメモリーカード内のiPod画面用画像データを、本機に取り込む また、本機に取り込んだデータを削除することもできます。	P.405

■パソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」について

本機に取り込む画像のサイズ調整や、アルバム情報の更新には、弊社で提供しておりますパソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」が必要です。「HDDナビマスター」は、下記の弊社ホームページからダウンロードできます。

<http://www.honda.co.jp/ACCESS>

「HDDナビマスター」の操作方法は、アプリケーションの提供と併せてご案内します。

アルバム情報の更新について

SDメモリーカードとパソコンを使用してアルバム情報を更新できます。

録音の際に、本機に内蔵のGracenote Music Recognition ServiceSMから取得したアルバム情報をSDメモリーカードとパソコンを使用して、インターネットのGracenoteのデータベースから最新の情報に更新できます。

本機能を使用するには、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するためのパソコン専用アプリケーション「HDDナビマスター」が必要になります。

「HDDナビマスター」については、「パソコン専用アプリケーション「HDDナビマスター」について」(P.392)をご覧ください。

アルバム情報の取り込み／書き出し

■アルバム情報を書き出す

MUSIC RACKのアルバム情報をSDメモリーカードに書き出すことができます。アルバム情報の書き出しは、MUSIC RACKモード時のみ有効になります。

お知らせ

- CD録音時およびオートプレイ(P.232)、類似曲(P.237)再生中は、アルバム情報の書き出しはできません。

ここまでの操作



1 [アルバム情報] の書き出しをタッチする

2 書き出すアルバム情報を選択して決定をタッチする



アルバム情報は、複数選択できます。選択した情報のチェックマークが表示されます。

3 はいをタッチする

情報転送中画面が表示されたあと、転送完了メッセージが表示され、アルバム情報画面に戻ります。ハードディスクに録音されているアルバムや曲数が多いと、書き出しに時間がかかる場合があります。



■アルバムの情報を取り込む

SDメモリーカードから本機にアルバム情報を取り込むことができます。



1 [アルバム情報] の取り込みをタッチする

2 はいをタッチする

更新メッセージが表示されアルバム情報が更新されます。アルバムや曲数が多いと、取り込みに時間がかかる場合があります。



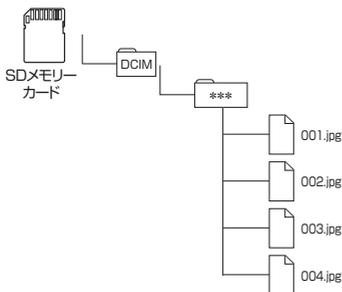
カード内画像の取り込み

■カード内画像ファイルについて

デジタルカメラなどで撮影したお好きな画像ファイルを、SDメモリーカードを使って本機に取り込むことができます。

■カード内画像ファイルの保存方法について

SDメモリーカードには、次のようなイメージで画像ファイルが保存されている必要があります。



- SDメモリーカード内には、必ず「DCIM」フォルダを作成し、「DCIM」フォルダ内には、必ず任意の名称のフォルダを作成してください。
- カード内の全ファイル・フォルダ名称の合計文字数が半角254文字以下になるようにしてください。
- 取り込み可能な画像のデータ形式は、「JPEG」、「BMP」形式です。プログレッシブJPEG形式は使用できません。
- ファイル名は半角8文字（全角4文字）以内（「xxxxxxx.jpg」、「xxxxxxx.bmp」）としてください。

■画像ファイルのサイズについて

取り込み可能な画像サイズは、最大5356×4056 ドットです。

■画像を取り込む

本機に画像を取り込むことができます。取り込み可能な画像のデータ形式は、「JPEG」、「BMP」形式です。



1 「カード内画像取込」の

取り込み をタッチする

画像リスト画面またはフォルダリスト画面が表示されます。

2 画像を取り込むフォルダをタッチする



画像リスト画面が表示されます。

※フォルダリスト画面は表示されない場合もあります。

3 取り込む画像をタッチする



4 決定をタッチする

選択した画像が本機に取り込まれます。

取り込まれた画像データは、

目的地 → 画像を探す → HDD内画像 の
操作で表示される日付のフォルダから
見ることができます。

アドバイス

- 取り込まれた画像データは、別のフォルダに移動することはできません。
- フォルダのアイコン画像は、そのフォルダを開いたときに最初に表示される画像のプレビューです。任意のアイコンに変更できません。

▶ END ◀

元画像フォルダの削除／画像削除

■フォルダを削除する

本機内の画像フォルダを削除できます。



1 [元画像フォルダ] の フォルダ削除をタッチする

2 削除するフォルダをタッチする



3 はいをタッチする

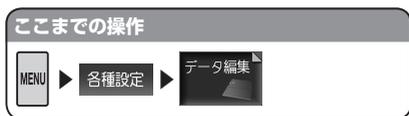
削除メッセージが表示され、選択したフォルダが削除されます。

▶ END ◀

便利な機能（アクセサリ）の使いかた

■画像を削除する

本機内の画像フォルダの画像を削除できます。



1 [元画像フォルダ] の 画像削除 をタッチする

2 削除する画像のあるフォルダ を選択してタッチする



3 削除する画像をタッチし、 決定 をタッチする



4 はい をタッチする

削除メッセージが表示され、選択したフォルダ内の画像が削除されます。



オーディオ背景画像の取り込み／削除

■オーディオ背景画像ファイルについて

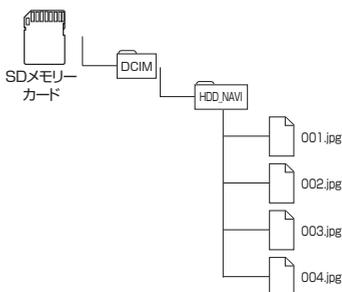
デジタルカメラなどで撮影したお好きな画像ファイルを、SDメモリーカードを使ってオーディオ背景画像として本機に取り込むことができます。

取り込んだ画像は、以下で表示させることができます。

- オーディオの壁紙 (P.156)

■オーディオ背景画像ファイルの保存方法について

SDメモリーカードには、次のようなイメージで画像ファイルが保存されている必要があります。



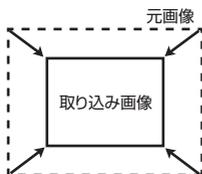
- SDメモリーカード内には、必ず「DCIM」フォルダを作成し、「DCIM」フォルダ内には、必ず「HDD_NAVI」フォルダを作成してください。
- 取り込み可能な画像のデータ形式は、「JPEG」、「BMP」形式です。プログレッシブJPEG形式は使用できません。
- ファイル名は半角8文字（全角4文字）以内（「xxxxxxx.jpg」、「xxxxxxx.bmp」）としてください。

■画像ファイルのサイズについて

画像サイズの調整は、専用アプリケーション「HDDナビマスター」でも行うことができます。「HDDナビマスター」については、「パソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」について」(P.392)をご覧ください。

取り込み可能な画像サイズは、最大816×492ドットです。

- オーディオユーザー壁紙に貼り込む画像サイズは、816×492ドットです。
- 取り込んだ画像が貼り込む画像より縦横ともに大きい場合は、自動的に貼り込む画像サイズに縮小して表示します。



- 取り込んだ画像が貼り込む画像サイズより小さい場合は、画像は中央に配置され、余白部分は黒く表示されます。



■画像を取り込む

本機にオーディオ背景画像を取り込むことができます。取り込み可能な画像のデータ形式は、「JPEG」、「BMP」形式です。



1 「オーディオ背景画像」の

取り込み をタッチする

画像リスト画面が表示されます。

2 取り込む画像を選択して

決定 をタッチする



3 **決定** をタッチする

選択した画像がフォルダに取り込まれます。

▶ END ◀

便利な機能（アクセサリ）の使いかた

■画像を削除する

本機に取り込んだオーディオ背景画像を削除できます。



1 【オーディオ背景画像】の

削除 をタッチする

2 削除する画像を選択して

決定 をタッチする

確認画面が表示されます。

3 はい をタッチする

削除メッセージが表示され、選択した画像が削除されます。



アルバム・登録地点画像の取り込み／削除

■アルバム・登録地点画像ファイルについて

デジタルカメラなどで撮影したお好きな画像ファイルを、SDメモリーカードを使ってアルバム登録地点用の画像として本機に取り込むことができます。

取り込んだ画像は、以下で表示させることができます。

- ナビゲーションの登録リスト（基本操作ガイド編 P.118）
- ナビゲーションのマイリスト（基本操作ガイド編 P.89）
- MUSIC RACK、マイアルバムのアルバム画像（P.242）
- iPod画面（P.285）

■アルバム・登録地点画像ファイルの保存方法について

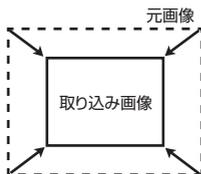
ファイルの保存方法は、オーディオ背景画像と同じです。「オーディオ背景画像ファイルの保存方法について」（P.396）をご覧ください。

■アルバム・登録地点画像ファイルのサイズについて

画像サイズの調整は、専用アプリケーション「HDDナビマスター」でも行うことができます。「HDDナビマスター」については、「パソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」について」(P.392)をご覧ください。

取り込み可能な画像サイズは、最大816×492ドットです。

- 登録地点やアルバムなどで貼り込む画像サイズは、128×128ドットです。
- 取り込んだ画像が貼り込む画像より縦横ともに大きい場合は、自動的に貼り込む画像サイズに縮小して表示します。

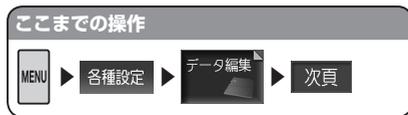


- 取り込んだ画像が貼り込む画像サイズより小さい場合は、画像は中央に配置され、余白部分は黒く表示されます。



■画像を取り込む

本機にアルバム・登録地点画像を取り込むことができます。取り込み可能な画像のデータ形式は、「JPEG」、「BMP」形式です。



1 [アルバム・登録地点画像]の「取り込み」をタッチする

画像リスト画面が表示されます。

2 取り込む画像を選択して

決定をタッチする



3 決定をタッチする

画像を取り込むフォルダをタッチすると、選択した画像が本機に取り込まれます。



■画像を削除する

本機に取り込んだアルバム・登録地点画像を削除できます。



1 [アルバム・登録地点画像]の削除をタッチする

フォルダ選択画面が表示されます。

2 削除する画像があるフォルダを選択してタッチする

画像リストが表示されます。

3 削除する画像を選択して決定をタッチする

確認画面が表示されます。

4 はいをタッチする

削除メッセージが表示され、選択した画像が削除されます。



オープニング画面の取り込み／削除

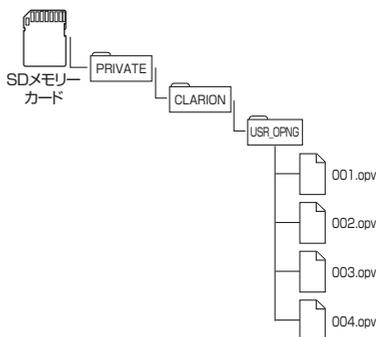
■オープニング画面について

デジタルカメラなどで撮影したお好きな画像ファイルを、オープニング画面として本機に取り込むことができます。

オープニング画面として取り込む画像は、他では使用できません。

■オープニング画面用画像ファイルの保存方法について

SDメモリーカードには、つぎの図のようなイメージで画像ファイルが保存されている必要があります。



デジタルカメラなどで撮影した画像は、必ずパソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」で画像変換をして、データ形式を「OPV」形式にしてください。「HDDナビマスター」については、「パソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」について」(P.392)をご覧ください。

■画像を取り込む

本機にオープニング用の画像を取り込むことができます。オープニング画面は、20個まで取り込むことができます。取り込み可能な画像のデータ形式は、「OPV」形式です。あらかじめ、パソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」を利用して画像を作成してください。取り込んだ画像は、本機の電源ON時に、本機の画面に表示されます。

ここまでの操作



1 「オープニング画面」の 取り込み をタッチする

2 取り込む画像を選択してタッチする

選択した画像のチェックマークが表示されます。

3 決定 をタッチする

選択した画像が本機に取り込まれます。



■画像を削除する

本機に取り込んだオープニング用の画面データを削除できます。

ここまでの操作



1 「オープニング画面」の 削除 をタッチする

2 削除する画像を選択して 決定 をタッチする

3 はい をタッチする

削除メッセージが表示され、選択した画像が削除されます。



登録地点の取り込み／書き出し

本機では500カ所の登録地点を保存できますが、SDメモリーカードに最大10グループ（1グループ550件、合計5,500件）まで登録地点を保存しておくことも可能です。

SDメモリーカードから保存した登録地点を表示させたり、再度SDメモリーカードから本機に登録地点を取り込むことができます。

登録地点の取り込み、書き出し、SDメモリーカード内の登録地編集は、ナビゲーション画面からのみ行えます。

■登録地点を書き出す

本機からSDメモリーカードに登録地点を書き出すことができます。

ここまでの操作



1 [登録地点]の **書き出し** をタッチする

2 書き出す登録地点を選択して

決定 をタッチする



3 書き出す先のグループを選択してタッチする



4 **はい** をタッチする

書き出しメッセージが表示され、選択した登録地点が書き出されます。



■登録地点を取り込む

SDメモリーカードから本機に登録地点を取り込むことができます。

ここまでの操作



1 [登録地点]の **取り込み** をタッチする

2 取り込むグループを選択してタッチする

3 取り込む登録地点を選択して **決定** をタッチする

選択した地点が登録リストに取り込まれます。



登録地点の編集

SDメモリーカード内の登録地点グループ名を変更できます。

ここまでの操作



1 **メモリーカード内の登録地編集** をタッチする

2 **名称変更** をタッチする



グループ名称変更画面が表示されます。

3 **名前を変更するグループを選択してタッチする**

4 **変更したい名称を入力して決定** をタッチする

名称が変更されてグループリストに戻ります。

▶ END ◀

登録地点の削除

SDメモリーカード内の登録地点を削除できます。

ここまでの操作



1 **メモリーカード内の登録地編集** をタッチする

2 **削除する登録地点のグループをタッチする**

3 **地点削除** をタッチする



削除地点リストが表示されます。

4 **削除する登録地点を選択して決定** をタッチする

5 **はい** をタッチする

削除メッセージが表示され、選択した登録地点が削除されます。

▶ END ◀

便利な機能（アクセサリ）の使いかた

登録地点を地図表示する

SDメモリーカード内の登録地点を地図に表示できます。



1 **「SDメモリーカード内の登録地編集」をタッチする**

2 **表示する登録地点のグループをタッチする**

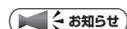
3 **表示する登録地点を選択してタッチする**

タッチした地点が地図表示されます。



TV・雑誌情報の取り込み

SDメモリーカード内のTV・雑誌情報の更新データを、本機に取り込むことができます。



- SDメモリーカードとパソコンを使用してTV・雑誌情報を更新することができます。

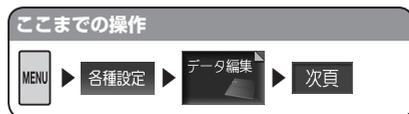
本機能を使用するには、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するためのパソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」が必要になります。

HDDナビマスターについては、「パソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」について」(P.392)をご覧ください。

なお、TV・雑誌情報は過去3年分を収録しているため、データを更新すると、古いデータは削除され、過去3年以内の情報のみになります。削除したくない施設は、あらかじめ地点登録などをしておいてください。



- データの取り込み中は、本機に関する一切の操作を行わないでください。データが破壊され、「TV・雑誌の情報から探す」機能が正しく動作しなくなる恐れがあります。



1 **「TV・雑誌情報」の「取り込み」をタッチする**

2 **「はい」をタッチする**

本機にデータが取り込まれます。



iPod画面の取り込み／削除

■iPod画面について

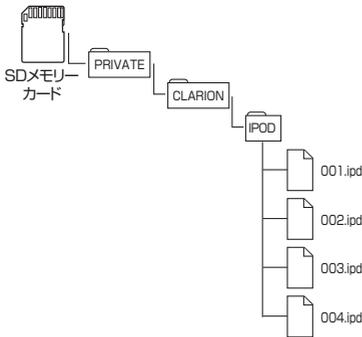
デジタルカメラなどで撮影したお好きな画像ファイルを、iPod画面として本機に取り込むことができます。

iPod画面とは、iPodを本機に接続しているとき、iPodのディスプレイに表示される画像です。表示される画像は、パソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」で作成された4階調のものになります。

iPod画面として取り込む画像は、他では使用できません。

■iPod画面用画像ファイルの保存方法について

SDメモリーカードには、つぎの図のようなイメージで画像ファイルが保存されている必要があります。



デジタルカメラなどで撮影した画像は、必ずパソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」で画像変換をして、データ形式を「IPD」形式にしてください。「HDDナビマスター」については、「パソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」について」(P.392)をご覧ください。

■画像を取り込む

本機にiPod用の画像を取り込むことができます。iPod画面は、20個まで取り込むことができます。取り込み可能な画像のデータ形式は、「IPD」形式です。あらかじめ、パソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」を利用して画像を作成してください。

取り込んだ画像は、本機とiPod接続時に、iPodのディスプレイに表示されます。

ここまでの操作

MENU ▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁 を2回

1 [iPod画面] の 取り込み をタッチする

2 取り込む画像を選択して 決定 をタッチする



画像リストは、ファイル名の順で表示されます。

本機に画像が取り込まれます。

▶ END ◀

便利な機能
(アクセサリ) の使いかた

■画像を削除する

本機に取り込んだiPod用の画像を削除できます。



1 [iPod画面] の **削除** をタッチする

2 削除する画像を選択して **決定** をタッチする



画像リストは、ファイル名の順で表示されます。

3 **はい** をタッチする

削除メッセージが表示され、選択した画像が削除されます。

